

本龍寺本堂建設趣意書

本龍寺の本堂が再建されることになり、和泉町の皆さま、並びに町外の皆さまに浄財のご支援をお願いすべく、趣意書をお届けしてご理解を賜りたいと存じます。

本龍寺は、約千年前よりこの地にあつて、和泉の人々と共に歩んで参りました。近代における本龍寺本堂の変遷を紐解きますと、明治三十五年に全焼しております。

この時は直ちに再建がかない、九間四面という三河でも上位級の立派な本堂が建設されました。しかし、その本堂も昭和二十年一月に起きた三河大地震で倒壊。それでも三年後には、終戦直後の物資のない中を村挙げて現在の「仮本堂」を造り上げました。地突きをし、旧本堂の材料を再利用し、壁土を練り、瓦を屋根まで運んで村一体となつて汗を流したものでした。

しかし近年とみに老朽化が進み、雨漏りするようにもなりました。また、仮本堂ゆへの耐震性と手狭さ、バリアフリー化への対応など、今後も皆さまに広くお使い頂くためには新しい設備が不可欠となつて参りました。

平成二十七年二月に建設発起人会が組織され、和泉町内会の認容のもと全地区の組総会で趣旨説明をさせて頂きました。その後、各組より建設委員を選出して頂き同年十月十日「本龍寺本堂建設委員会」が発足。以来、会議を重ね建設規模と予算概要について同委員会の承認を受けるに至りました。

何分にも本事業は多額な資金が必要です。皆さまのご理解とご協力をなくしては成し遂げられません。準備が整い次第、役員がご挨拶に伺います。誠に恐縮ですがご支援のほどお願い申し上げます。

平成二十八年一月

本龍寺本堂建設委員会	委員長	沓名昭二
〃	副委員長	都築省三
〃	副委員長	早川道久
〃	副委員長	沓名令亨
〃	副委員長	早川恒男
本龍寺住職		樋口祐慈

《 予算概要 》

本堂建設費 …………… 2億3,000万円
 本堂等解体費
 内陣仏具修復費
 附属建物建設費
 法要費
 その他費用

………… 7,000万円

事業費総計 …………… 3億0,000万円



参考完成イメージ図 = 東京都新宿区・日蓮宗幸国寺

